

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・中間報告（令和5年度）
あんしんケアセンターこてはし台

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	① 元気会 （鷹の台） ② 健康寿命延伸プロジェクト （鷹の台） ③ つどい喫茶 （こてはし台）	① ② 65歳以上の方を対象に高齢者の健康の増進（フレイル予防）に関する周知を行うと親睦を目的とし、花見川保健福祉センター健康課の地域参加支援事業として、社協地区部会と自治会で開催。 ※4月にあんしんケアセンター出張講座を開催している。 ③6月から再開 月1回 参加し出張相談を行っている。	○
(2)	交流の場づくり	カフェ （多世代交流・認知症カフェ等）	① ふらっと横戸台 7月より月1回 第3日曜日 開催。 カフェ参加者に対しての相談、後方支援等行っている ② ○○カフェ（マルマルカフェ） こてはし台地域ケア会議（9月）、令和元年から検討してきた○○カフェの内容を合わせカフェ開催の検討を行った。 11/28よりオリーブの樹 そよ風 オープンスペース活用（12月より第3火曜日 月1回開催） 主催：あんしんケアセンター 共催：オリーブの樹 こてはし台自治会 社協地区部会 206 民生委員児童委員等	◎

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	地域ケア会議	・横戸町（鷹の台）前期2回 後期2回開催 地域の見守り強化、支援が必要な方への早期支援が行える体制構築。（民生委員児童委員・自治会長・生活支援コーディネーター等） ケア会議から（7）へ結びついた。 ・こてはし台地域ケア会議 地域ケア会議から（2）○○カフェにつながる こてはし台での関係機関と共同しオープンスペース活用し多世代交流等発展していく。	◎
(4)	地域の機関・団体等との連携	・206、211 地区民児協定例会参加	・民生委員児童委員の実態調査後の連絡等、日頃から連携を図りながら支援を行っている。	○

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	・第1層 第2層生活支援コーディネーターと連携	・第2層生活支援コーディネーターと共に各地域の見守り組織の情報収集を行った。 ・第2層生活支援コーディネーターが地域活動に参加している事で自治会等から生活コーディネーターを通じて講義等の依頼があった。	○
(6)	地域福祉情報の発信	・広報誌の作成	あんしんケアセンター前掲示板の掲示や各圏域サロン（出張相談含む）等で配布し発信を行っている。	◎
(7)	学習の場や体験の場の創出	① 歩いてビンゴ（柏井地区子ども会育成連絡会） ② 認知症サポーター養成講座	① (3)の地域ケア会議から認知症啓発活動で子供会と共催。 QRコードの問題を認知症クイズ（認知症に対する声掛け問題等）として参加者が認知症役に声掛けしていただいた。 ②柏井高校での認知症サポーター養成講座開催 ※毎年、講座の開催を行っている。	◎

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	・消費者被害防止啓蒙活動	・消費者被害防止についてあんしんケアセンター前掲示板で掲示を行っている。 ・6月にほのぼの会（6月） ・10月に元気会（10月）にて講座の開催予定 ※消費者生活センターへ依頼	◎
(9)	身近な災害への備え	BCP（事業継続計画）作成	BCP作成に関する研修参加、法人と内容の確認等を調整している。	△

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和5年度の取り組み状況 （上記項目の総括・中間報告）	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターがサロン等に参加している事で地域とのつながりが以前より増え講座等の依頼が増え、あんしんケアセンターの周知など行い地域との関りが増えた。 ・横戸町（鷹の台）、こてはし台地域ケア会議から認知症啓発活動等に繋がり今まで取り組みが出来なかった若年層に対しての認知症に対する普及啓発活動も行えた。
--------------------------------	---

次年度に向けた展望	<ul style="list-style-type: none"> ・各圏域自治会、民生委員児童委員、社会福祉協議会、社協地区部会等と連携を図り地域課題の把握、地域づくり、資源開発に向けて取り組みを行う。 ・生活支援コーディネーターと連携し地域の細部にわたって地域情報等を把握し多世代交流の場や地域住民に対して、介護予防に意識を向けられるよう地域活動を行っていく。
令和5年度の達成状況の中間報告 (自己評価)	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率 100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率 50%以上 100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率 10%以上 50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が 10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・中間報告（令和5年度）
あんしんケアセンター花見川

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロン ・高齢者サークル ・介護予防体操教室 ・介護予防普及啓発活動 <p>○長作地区（地蔵作）にて8回参加 ○花見川団地（住宅自治会）にて2回参加 ○柏井地区にて2回参加 ○花島地区にて3回参加</p> <p>・高齢者を対象として、センターのオリジナル広報紙配布し、介護予防等の情報提供や相談毎にその場で対応した。食中毒や熱中症、防災などの説明を聞いた高齢者から参考になる等の感想を頂く</p> <p>○花見川地区シニアリーダーに8回参加 ○長作台作新台地区シニアリーダーに7回実施 ○長作シニアリーダーに8回参加</p> <p>・シニアリーダー後方支援にて継続的運営をサポートし、フレイル予防や周知、高齢者自身が参加できる体操や健康講座健康サロンを開催。また、長作、作新台地区シニアリーダーは昨年度より打ち合わせを進め今年5月に立ち上げ、開始された。皆取り組みを続け、メンバーも変わらずに継続出来ている事からフレイル予防や介護予防に繋がっている。</p> <p>○花見川団地にて健康サロン3回実施 6月：歩行測定会と福祉用具展示 9月：ご自身の足のサイズを知ろう！セニアカー体験と福祉用具展示 11月：血管年齢 ベジチェック測定（推定野菜摂取量）</p> <p>○握力測定会を2回実施（4月、9月）</p> <p>・健康サロンで参加者のなかには団地外の方もおられ、参加者の住まれている地域でも是非開催してほしいと要望が上がる。</p> <p>○花見川団地と長作地区の高齢者の集まりにて「介護予防や介護保険制度や地域包括支援センターの理解促進のための講演会を行った（2回）</p> <p>・講演会では、あんしんの役割や仕事にて何をしてい</p>	○

			る所？と思われる高齢者が多く、参加者からオレオレ詐欺に注意、認知症でも自宅で住み続ける、みんなのサポート含めた地域社会などわかりやすいキーワードを用いて説明してもらい理解しやすかったと感想を得られた。	
(2)	交流の場づくり	・ワークショップ	<p>・花見川団地の未来を考えるワークショップに7回参加し、地域を盛り上げたいと望まれている関係者と話し合う。街づくりに地域のクリエイターや学生らが参加されており、商店街休憩スペースを助成金の使用にて改修、駄菓子屋オープンに向けて進め、地域の元気な高齢者がボランティアで運営できるように第2層生活支援コーディネーターが現在参加者のマッチングを行っている。その他、あんしんでも健康サロンを開催し高齢者向けコンテンツを提供している（結果等は①参照）</p> <p>認知症カフェではないが、団地内に高齢者・子供のカフェがあり、そちらの方へは3回参加。</p> <p>認知症カフェを圏域内で開催してほしいと要望もある為今後の課題として進めたい。</p>	○

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	<p>・地域ケア会議</p> <p>花見川地域ケア会議の開催（6月・9月） 地域課題で、高齢者、引き籠りの子、生活困窮、外国人の生活様式から来る諸問題があり、今年度から障害者基幹相談支援センター、生活自立・仕事相談センターにも参加を依頼。地域関係者が困った際の専門の相談窓口となる。その他地域の介護事業所からも地域との関係を築きたい、地域貢献を考えたいと相談を受け、グループホーム事業所が参加されるようになる。他では事例を通じて地域課題を検討（8050問題、生活困窮）し、地域で出来る事等を確認したほか、ゴミ出し支援の話では、賃貸側にはJ Sサービス（UR）や互助組織があるが、分譲側にはそのようなサービスがなく、現在あんしんと自治会と課題解決に向けて地域特性を踏まえて検討を進めている。</p>	○
(4)	地域の機関・団体等との連携	<p>・地区民児協定例会参加</p> <p>・圏域の民児協定例会へ年7回参加し、地域の相談状況・傾向等、都度実績を基に説明、民生委員からの質問や相談に回答し理解促進を図った</p>	○

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	<p>①第1層・2層生活支援コーディネーターとの連携</p> <p>②地域密着型サービス運営会議</p>	<p>①コロナで活動停止されていたサロンやまだ参加したことが無かったサロン等の情報2層生活支援コーディネーターと共有し作新台地区のサロンへ1件参加した。支援者が元民生、現民生3名で運営されおりサロンの実施状況等の把握を行った。またグループホームより地域貢献活動の相談を受け、パンの移動販売、敷地内でのガーデニングを開放し、地域住民も利用できるようになった。</p> <p>②運営会議に6回参加（グループホーム、デイサービス含め）</p> <p>事業所の課題で、地域住民との関りが持ちにくい等の相談を受け、民生委員と連携し、事業所側と住民を交流できる環境をどうするか進めている</p>	○
(6)	地域福祉情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> 出張相談会 広報誌の作成 	<p>○出張相談会は、サロンやサークル活動に参加時（回数については(1)の実績のとおり）に都度、支援が必要な方への早期対応につなげている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報誌を地域サロンや体操教室参加時に配布、関係各所へ配布 11月21日に障害基幹、生活自立と花見川団地集会場にて3事業合同相談会を開催。初の試みの中4組の相談があった。あんしんは団地の中心にセンターを構えているが、障害者基幹相談支援センターは畑町、生活自立・仕事相談センターは保健福祉センターでそれぞれ運営されている。相談会を行う事により、出向かなくてもよい事が住民へ周知されれば相談は増えると考えて今後も取り組みを継続していく方向とした。 	○
(7)	学習の場や体験の場の創出	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座 認知症キッズサポーター養成講座 ニモ包括推進 	<p>○キッズ認知症サポーター養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月花見川小学校 小学生66名（小4、5、6年） 11月作新小学校 小学生50名実施。（小4年） <p>アンケートで「自分たちにも出来る事があった事を知った」や「認知症がそんなに大変な病気であったとは思わなかった」「認知症の方の役に立てればと思う」等の感想を聞いた。</p> <p>精神障害者の地域生活支援を推進するための取り組みに積極的に参加し地域へ啓蒙活動を進めて行くために10月に千葉市精神障害にも対応した地域包括ケ</p>	○

			<p>アシシステム構築推進会議・花見川区市民向け普及啓発活動を花見川団地集会場にて講演会をハイブリット方式で実施した。参集とオンラインで 50 名ほど参加され、精神疾患の事や地域で支援されている看護師からの話を頂いた。</p> <p>花見川団地には精神疾患を患っている方も少なくはない為、地域で支援する際に気をつける事等含めて学べたという意見を多く頂いた。</p>	
--	--	--	--	--

《基本方針 4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	・ 消費者被害防止啓蒙活動	<p>○注意喚起を促すため消費生活センターへ出向き、地域で確認できている詐欺等を把握しサロンや講演会等でも促した。</p> <p>○移動交番が花見川団地へ来た際にも上記同様に警察官から情報を頂き、高齢者への注意喚起を行った。</p> <p>○センター前掲示板を活用したり、ラジオ体操やサロン参加時に上記の情報も含めて詐欺被害防止の注意喚起を行った。</p>	○
(9)	身近な災害への備え	<p>・ 合同避難訓練</p> <p>・ BCP 計画作成</p>	<p>○11 月に作新台地区、長作台地区で防災訓練があったが、参加できなかった。</p> <p>○感染症や自然災害が発生した場合でも、業務を中断させないように、優先業務を実施するため、あらかじめ方針、体制、手順等を示した計画を作成する BCP 計画は作成中の段階。</p>	△

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和 5 年度の取り組み状況 (上記項目の総括・中間報告)	概ね実行はできている。この後も引き続き取り組みを継続していくが、特に基本方針 4 の項目は重点的に取り組んでいく。
次年度に向けた展望	やはり地域住民同士の関係性の希薄化を感じる為、地域支援者と共にイベント等を仕掛けて、住民通しの関係性構築や協力体制構築の促進を図りたい事と今は漠然と考えている。
令和 5 年度の達成状況の中間報告 (自己評価)	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率 100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率 50%以上 100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率 10%以上 50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が 10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・中間報告（令和5年度）
あんしんケアセンターさつきが丘

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> 出張介護予防教室 喫茶、サロンの運営協力 	<ul style="list-style-type: none"> 犢橋公民館において、地域の高齢者を対象とした出張介護予防教室を開催した。通算5回の開催で延べ13名が参加した。フレイル予防を目的とした体操と脳トレをメインに、奇数月には花見川いきいきプラザの協力も得てポッチャ体験を行った。参加者より、良い運動機会になって気持ちが良いとの感想が聞かれた。 計5件の喫茶、サロンにて、参加者の傾聴対応と地域内のイベントやボランティア募集、移動販売情報等、地域福祉の情報発信を行った。 	△
(2)	交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェの運営協力 	<ul style="list-style-type: none"> ケアラズカフェ（ここカフェ）において、傾聴対応や地域福祉の情報提供の他、合唱や川柳の共有等も行った。通算5回の開催で延べ49名が参加した。また、運営協力にあたり、新たな担い手を2名確保した。 	○

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議 	<ul style="list-style-type: none"> 9/19（火）に独居で身寄りのない認知症高齢者の支援について、地域住民と行政機関を招いて会議を開催し、9名が出席した。対象者の支援について、役割分担を行うことができた。 	○
(4)	地域の機関・団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> 地区民児協定例会の参加 地区部会の委員会会議に参加 	<ul style="list-style-type: none"> 5/13（土）に205地区、5/15（月）に214地区の民児協に参加させていただき、前年度の事業所における総合相談内容の内訳をした資料の配布と地域課題に対するアンケートを行った。 ケアラズカフェ（ここカフェ）については、カフェ終了後の反省会に毎回参加し、関係者との意見交換を行った他、運営推進会議に1回参加した。また、シニアリーダー体操教室（5ヶ所）については、教室終了後にシニアリーダーと適宜意見交換を行った。 	○

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型サービス運営会議 ・ 徘徊高齢者声掛け訓練 ・ シニアリーダー養成講座の周知 ・ 地域の担い手との関係構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席依頼のあった圏域内の地域密着型サービス運営推進会議に出席し、福祉サービスの質の向上等について意見交換を行った。出席依頼のあった事業所数は計8ヶ所で会議出席回数は12回であった。 ・ 12/16(土)にあんしんケアセンターこてはし台と協働し、花見川いきいきプラザのクリスマスにおいてイベントのひとつとして徘徊高齢者声掛け訓練を実施予定である。 ・ 2ヶ所の民児協にてシニアリーダー養成講座の周知をした。また、事業所の前にチラシを貼り出す他、通いの場に参加されている地域住民に配布する等の周知活動も行った。 ・ シニアリーダー体操教室のシニアリーダーより、体操教室の運営方法と担い手間の対人トラブルについて相談を1件受け、体制の見直しと関係構築を目的にミーティングを企画した。 ・ 老人クラブより、マンネリ化しつつある活動内容について相談を1件受け、当方が把握している出張講座等の情報を提供し、その後の橋渡しも行った。 	△
(6)	地域福祉情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出張相談会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6/21(水)に花見川いきいきプラザ、6/30(金)にさつきが丘いきいきセンターにて開催された健康フェスティバルに参加し、基本チェックリストの実施といきいき活動手帳の配布を行う等を行い、参加者の生活相談を行った。なお、2ヶ所の健康フェスティバル参加者の内訳について、花見川いきいきプラザが59名、さつきが丘いきいきセンターは41名であった。また、花見川いきいきプラザにて偶数月の1回、生活相談会を開催し、通算3回の開催で述べ28名が参加した。参加者より、あんしんケアセンターがあるのは心強い等の言葉が聞かれた。 	○

		・ 通いの場を訪問	・ 通いの場 23 団体へ訪問し（うち、継続訪問は 17 団体）、参加されている地域住民に対して、健康講座の情報や地域内のイベント等の介護予防に関するチラシの配布と説明を行った。また、活動内容について伺うことにより状況の把握に努め、必要とされる地域住民に対し適宜情報提供を行った。	
(7)	学習の場や体験の場の創出	・ 出張講座 ・ 認知症サポーター養成講座 ・ 終活講座	・ 8/6（日）にひばりが丘自治会より出張講座の依頼があり、講師を務めた。講座の内容は「千葉市あんしんケアセンターとは？」「あんしんケアセンターが介入して課題解決したケース」の 2 つのテーマであり、参加者は 30 名であった。また、アンケートの結果より、講座に対しての好評をいただいた。 ・ 6/11（日）に社協さつきが丘・宮野木台地区部会より依頼があり、「福祉まつり」におけるイベントのひとつとして認知症サポーター養成講座を開催した。参加者は 25 名であった。また、アンケートの結果より、認知症への理解ができた、認知症の方へやさしく接したい、サポーターとして何かをしたい等の意見をいただくことができた。 ・ 9/1（金）に明治安田生命との共催にて終活講座と健康測定会を行った。参加者は 12 名であった。参加者より、大変参考になった、今から終活を始めます等の感想が聞かれた。	△

《基本方針 4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況	
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	・ 電話 de 詐欺出張講座の紹介 ・ 電話 de 詐欺等のチラシ配布 ・ 消費者被害勉強会	・ 2ヶ所の民児協にて、千葉市地域安全課による電話 de 詐欺出張講座を紹介し、開催希望についてアンケートを実施した。結果、1 団体から開催希望があり、情報提供と橋渡しを行った。 ・ 通いの場 7 団体へ訪問し、参加されている地域住民に対し、チラシと消費者被害注意報の配布と説明を行った。配布したチラシは 95 部であった。 ・ 今年度の 1 月に事業所の全職員に対し、消費者被害に関する勉強会を行う予定である。講師は管理者が務める。	△

(9)	身近な災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常時訓練 ・ 安否確認 ・ BCP の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月 1 回の事業所における全体会議時に非常用自家発電機と防災ラジオの試運転を行った。また、災害対策としてヘルメットを購入した。 ・ 事業所作成の安否確認リストに掲載されている高齢者に対し、自宅訪問や電話にて安否確認を行った。 ・ 感染症や自然災害は発生した場合に備えて、方針、体制、手順等を示した計画を現在作成中である。 	△
-----	-----------	--	--	---

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和 5 年度の取り組み状況 (上記項目の総括・中間報告)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定していた事業計画をほぼ実施することができた。特に地域の諸団体活動に対しての運営協力する機会が多かった。 ・ 事業所主催の犢橋公民館出張介護教室について、多種多様な手段で周知を試みたが、参加者数が伸び悩んだ。 ・ 出張講座と認知症サポーター養成講座が各 1 回ずつであったため、多くの講座依頼が受けられるよう、今以上に周知活動を行う必要がある。
次年度に向けた展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度後期に予定している取り組み事項を確実に行う他、次年度は新たに事業所主催にて、定期的な開催が見込める地域資源を発掘していく。 ・ あんしんケアセンターの周知活動に力を入れ、地域の諸団体を含めた多職種との顔の見える関係づくりを行う。 ・ 地区部会単位での活動継続は勿論だが、町内自治会単位での活動にも力を入れていく。今年度 2 月には千種町自治会館にて地域ケア会議の開催を予定している。 ・ 高齢者だけでなく、多世代間の交流を目標として、各種関係機関と連携して地域ケア会議を開催する。
令和 5 年度の達成状況の中間報告 (自己評価)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ : 年度目標以上のものが達成出来た場合 (達成率 100%以上) ○ : 年度目標が概ね達成できた場合 (達成率 50%以上 100%未満) △ : 年度目標の一部が達成できた場合 (達成率 10%以上 50%未満) × : 年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合 (目標に対する達成率が 10%未満)

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・中間報告（令和5年度）
あんしんケアセンターにれの木台

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・にれの木台 ラジオ体操 ・西小中台 にれの木台 健康教室 ・スマホ教室 ・SL（シニアリーダー）体操などの紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・月～金 開催 4月～9月延参加者数 1986名 ・毎月開催（8月はお休み）延参加者数 51名 ・毎月開催（8月はお休み）延参加者数 57名 ・毎月1回開催 延参加者数 28名 ・総合相談者に介護予防の必要性を説明し区内のSL体操教室の紹介を行っている 	○
(2)	交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> （認知症カフェ） ホットスペース 畑 	認知症に関する相談者に認知症カフェ・ホットスペース畑のチラシを配布した。毎月のカフェ開催時に参加し、運営のサポートを行った。開催者からの相談にアドバイスを行った。	△

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の定例会に毎月参加。 ・朝日ヶ丘3丁目「ビレジ助け合いの会」に参加し高齢者および要支援者の支援についての講話を実施した。 	○
(4)	地域の機関・団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地区民児協定例会参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日ヶ丘地区部会からの依頼を受け介護保険についての講話や健康チェックを行った。 西小中台地区、東部自治会の敬老会に参加し、あんしんケアセンターの周知や介護予防についての講話や体操を実施した。 	○

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型運営推進会議出席 ・にれの木台、西 	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型サービス事業所の運営推進会議に参加し福祉サービスの質の向上を図るための助言を行った。 地域の方に、趣味や特技を募集し健康教室で講師と 	○

		小中台健康教室	なって活躍して頂いた（ヨガ2名、指ヨガ1名）。 認知症ステップアップ講座受講者にボランティア参加へのお誘い。	
(6)	地域福祉情報の発信	出張相談所の開設	にれの木台事務所から距離のある西小中台で毎月出張相談を開催している。	△
(7)	学習の場や体験の場の創出	4/7 朝日ヶ丘地区部会で介護保険についての勉強会を開催。 6/6 朝日ヶ丘地区部会で高齢者に多い疾患と予防についての講話。	・4/7の地区部会で介護保険制度や介護予防、健診の必要性の講話を行った。 ・6/6には朝日ヶ丘公民館で高齢者に多い疾患と予防についての講話を実施。	△

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	消費者被害、特殊詐欺防止のポスターの掲示や集いの場での注意喚起を実施。 民生委員と情報共有	にれの木台ラジオ体操や健康教室、圏域内シニアリーダー体操などの集いの場で特殊詐欺や消費者被害の情報提供をし、注意喚起を行った。 高齢者世帯や独居の方へナンバーディスプレイや留守番機能の利用を推奨している。	△
(9)	身近な災害への備え	防災グッズの確認、発電機の定期的な点検	定期的に防災グッズの点検、確認を行った。 防災マップの確認を所内で定期的に行った。	△

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和5年度の取り組み状況 (上記項目の総括・中間報告)	月～金のにれの木台ラジオ体操は参加人数が増加。毎月実施している健康教室やスマホ教室も定着してきている。畑地区での開催が出来ていないため、今後は自治会や地区部会と連携を強化し既存の集まりの中であんしんケアセンターの役割や介護予防の必要性等お伝えしていきたい。
--------------------------------	--

次年度に向けた展望	現在実施している集いの場の継続。圏域内の集いの場の情報収集。畑地区での相談窓口の開催や、介護保険制度や介護予防に関する情報の提供を行う。
令和5年度の達成状況の中間報告 (自己評価)	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・中間報告（令和5年度）
あんしんケアセンター花園

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	地域サロン 花園みんなのカフェ TOMO	SC（生活支援コーディネーター）が主にイベントに参加をしている。	○
(2)	交流の場づくり	認知症カフェ	新規での活動は行えていない。	△

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	地域ケア会議	今年度の重点地区（朝日ヶ丘4丁目）の民生委員へ依頼し、地域の方へのアンケートを行っていただき、地域のニーズの情報収集を行い、民生委員との連携を図り、地域の求めていることについて話し合うことができた。	◎
(4)	地域の機関・団体等との連携	多職種連携会議	・幕張・花園圏域の多職種連携会議を共同で開催した。 ・担当圏域全域（201地区、202地区）の民児協、花園地区の敬老会に参加した。	○

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	シニアリーダー体操	検見川5丁目自治会館でのシニアリーダー体操の初回を5/18に開催し、翌月から定期開催となっている。	◎
(6)	地域福祉情報の発信	花園だより	5月と11月に発行している。	○
(7)	学習の場や体験の場の創出	出張講座 認知症サポーター養成講座	・花園みんなのカフェ TOMO、まちの談話室、花園公民館にて認知症サポーター養成講座を開催。 ・瑞穂小学校4年生対象にキッツサポーター養成講座を開催。	◎

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	高齢者の権利擁護の防止 消費者被害の防止と早期発見	・花園だよりを、シニアリーダー体操、自治活動組織で配付し、消費者被害の周知を行った。	◎
(9)	身近な災害への備え	非常時訓練	・具体的な訓練は行っていないが。毎月1回は発電機を発動させ、緊急時に対応できるよう確認を行っている。 ・BCPを作成している。定期的な見直しを行う。	△

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和5年度の取り組み状況 (上記項目の総括・中間報告)	対面での活動が増え、地域へ出向く機会も増えている。コロナ前に比べると活動は少ない状況であるが、徐々に地域の民生委員との連携や、シニアリーダー体操に参加をしている。
次年度に向けた展望	町内自治会との連携で、朝日ヶ丘自治会と連絡を取りあい、後期に向けて連携を深め、それぞれの活動をやりやすい環境を作る方向で話が進んでいる。具体的な内容については検討中。
令和5年度の達成状況の中間報告 (自己評価)	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・中間報告（令和5年度）
あんしんケアセンター幕張

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	たんぽぽ広場	たんぽぽ広場は、月1回開催。花壇コンクールは、応募準備が整わず、今年度の応募は見送った。	△
		ふみこさん家	ふみこさん家は、月2回開催。 参加を通して、参加者も運営者も顔見知り関係が構築されている。	◎
(2)	交流の場づくり	たんぽぽ広場 ふみこさん家	認知症当事者の方も複数参加されており、園芸活動や工作活動などを通し、家族以外の他者と交流する機会になっている。参加者各自が、相互に「できること」と「さりげない手伝い」を意識しながら活動する雰囲気を作り出されている。	◎

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	地域ケア会議	個別課題にて、2回開催。支援関係者と協議し、具体的な対応策と支援方針を協議した。 地域課題にて、1回開催。地域自治・活動の代表者とともに懇談会を開催し、各立場からの気づきを情報共有した。	○
		多職種連携会議	花園圏域と1回共同開催。口腔機能とケアの視点を学習し、高齢者の生活と健康維持の支援の在り方を協議した。	○

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	プレーパーク打合せ	毎月1回懇談会を開催。プレーパーク主催者からの呼びかけを受け、公園マルシェや文化祭へ参加した。	○
(6)	地域福祉情報の発信	広報紙発行	偶数月に定期発行。人口増により、配布数を増加した自治会あり。当センターの周知と、主として高齢者の日常生活に関する情報を掲載。読者から、掲載内容に関する問い合わせや感想を受けた。	◎
(7)	学習の場や体験の場の創出	出張講座 認知症サポーター養成講座	老人会や高齢者の参加が多い団体にて、出張講座を2回開催。 認知症サポーター養成講座は、開催していない。	△

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	消費者被害、特殊詐欺被害防止に関する注意喚起	被害防止のためのチラシ配布や、地域の活動団体の運営会議等に参加した際、注意喚起や被害予防対策の情報提供を行った。	○
(9)	身近な災害への備え	非常時訓練	携帯発電機の操作確認と試運転を月1回実施。当センターがプラン作成を担当している利用者の安否確認リストを1回見直した。	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和5年度の取り組み状況 (上記項目の総括・中間報告)	基本方針1については、おおよそ計画通りに実施できておいる。活動や作業を通じた交流と、相互に関心を抱きながら関係構築している現状があり、居場所づくりとして参加者にも好評を得た。 年代や属性を限定しない催しに参加することにより、多世代に当センターの存在を知ってもらう機会となった。
次年度に向けた展望	地域ケア会議と認知症サポーター養成講座は、後期に開催を予定しており、年度目標は達成の見込み。居場所づくりは今年度開始したこともあり、運営役員の活動をセンター職員が支援している。継続的な運営と活動の維持のためにも、運営委員の育成を意識した支援と取り組みの呼びかけを行う。
令和5年度の達成状況の中間報告 (自己評価)	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）